

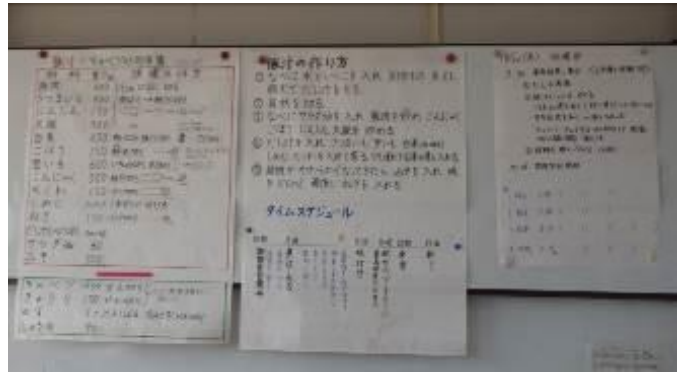
水土里レポート 投稿様式

投稿月日	平成27年10月29日
タイトル	給食米収穫の喜び！収穫祭をしました！
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

平成27年10月22日（木）福山市立東村小学校全児童46名が、学校給食食材納入グループ「若草会」や日頃学校の運営でお世話になっている方々を招いて収穫祭をされましたので取材しました。

学校農園で栽培された米と地域の方と児童が植えたサツマイモの収穫を祝い、日頃の感謝の気持ちを込めて催されました。

5、6年生は、若草会の女性部に教えていただき豚汁を作りました。具材の多くは、若草会の会員が作った野菜です。若草会の女性部は、この日のために作り方などを大きな模造紙に書いて作ってこられ、みんなで見ながら調理しました。



4班に分かれ120人前の豚汁を作りました。
みんな上手なので「家でもお手伝いするの？」と聞いたら「家ではぜんぜんしてない」と言っていました。
でも沢山の具材を切って、手際よく、鍋いっぱい豚汁を作りました。
豚汁ができると、男性陣の出番、大きな鍋をランチルームまで運んでくださいました。

ランチルームでは、低学年の子ども達はもう着席して給食が待ち遠しいようです。高学年の子ども達と若草会の女性部のみなさんとで配膳しました。献立の3分の2の具材が地域の方から納入されたものでした。

若草会や地域の方、子ども達と約90人が集まり、収穫祭が始まりました。まず、校長先生から「若草会や地域の方への感謝の気持ちとお米が沢山収穫できたこと、みんなで作ったサツマイモが不作だったが、今日の豚汁に収穫できたサツマイモを全て入れたこと」が伝えられました。

若草会 ^{すぎはらなおみち} 杉原直道会長からは「学校農園の近くにホタル、シカ、キジが出没したことやサツマイモが不作でも絶対に絶滅せず少しでも生き残る、自然の動植物のたくましさ」を話されました。

サツマイモの植付けやかかし作り、昔ながらの遊びなどを教えてくださいと地域の方から「戦争を体験し平和な時代になり子ども達が明るく健やかに成長してくれることが嬉しい、サツマイモが不作だったが、失敗した方が記憶に残るいい体験になった」と話されました。

「今日だけは、いっぱいおしゃべりしましょう。」と先生がおっしゃり、みんなで合唱していただきました。



納入された食材は、誰が作ってくださったか分かるように紹介してありました。
きれいな箸入れが添えてあり、給食の先生が一つずつ時間をみつけては折って準備されたそうです。

食事が始まると、今日の食材を納入してくださった方の紹介や子ども達からクイズが出され、和気あいあいと新米のご飯と具沢山の豚汁をいただきました。

同じ席になった子どもに感想を聞くと「お米があまい」「豚汁がおいしい」と言っていました。いつもより配膳してから食べるまで時間が経って「ご飯が冷えている」と言っている子どもがいました。いつもは、炊きたてのご飯を食べることができるなんて羨ましいことです。冷えていても、とてもおいしいご飯でした。みんな、おかわりも沢山していました。



みんなでクイズに答えました！



地域の方と子ども達、自然と話がはずんでいました

ごちそう様の挨拶をみんなでしました。手をあげて、おいしかったものと理由を言います。「若草会のみなさんとみんなで作った新米だから、おいしかった」と言った子どもに大きな拍手がおこりました。

最後に子どもを代表して、若草会や地域の方に感謝の気持ちが伝えられ、収穫祭は終わりました。



皿や箸をわけ、きれいに片づけられました。



稲の成長を見守っていた様子など展示

学校農園へ行ってみると、いろいろな野菜が大きくなっていました。これからも、沢山の新鮮な野菜が子ども達に届けられることと思います。



今回は、米とサツマイモの収穫を祝う「収穫祭」取材しました。子ども達が、若草会の方と一緒に調理実習したり、食事を共にしているところに同席させていただきました。日頃から農業体験など、ふれあう機会が多からか、とても和気あいあいとしておられ、大きな家族のような雰囲気の「収穫祭」でした。

12月には、ここ東村町で「かかし祭り」が開催されます。水土里ネット福山では、昨年につき今年も「かかし祭り」に参加し、東村町の魅力を届けたいと思います。